

# 指定管理者評価委員会の評価結果（令和元年度）

令和元年 8月28日

|      |          |       |  |     |
|------|----------|-------|--|-----|
| 評価対象 | 施設名      |       | 中之島公園(リバーポートパーク美濃加茂)   |     |
|      | 設置目的・役割等 |       | 木曽川の自然を保全しつつ、人々が水辺や森など公園周辺の自然に親しむ場として、また、街を散策する際の拠点として、憩いと集いの空間を提供する施設 |     |
|      | 施設の所在地   |       | 美濃加茂市御門町 2-6-6   |     |
|      | 規模等      | 敷地面積  | 29,476.56 ㎡  | 担当課 |
|      |          | 延床面積等 | 1,384.08 ㎡(木造 2階建て)  | 土木課 |
|      | 指定管理者名   |       | 中之島公園利活用共同体(有限会社 EAT&LIVE、有限会社リタッグ)                                    |     |
|      | 指定期間     |       | 平成 30 年 4 月 1 日～令和 5 年 3 月 31 日 (公募・任意指定)                              |     |

|      |  |
|------|--|
| 評価委員 | <p>日本福祉大学 IR推進室専任研究員 笹川 修</p> <p>名城大学 都市情報学部教授 赤木 博文</p> <p>三菱UFJリサーチ&amp;コンサルティング(株)上席主任研究員 田中 三文</p> <p>コンサルティングシスト代表 伊藤 慎悟</p> <p>岐阜協立大学 経済学部専任講師 藤井 えりの (欠席)</p> |
|------|--|

## 更新に関する評価(更新時のみ)

|                             |   |
|-----------------------------|---|
| ① 指定管理者制度による管理運営を継続することについて | <input type="checkbox"/> 1 特に問題がなく、指定管理施設として継続すべき<br><input type="checkbox"/> 2 改善が必要な事項はあるが、指定管理施設として継続するのが適当<br><input type="checkbox"/> 3 再考の余地がある(直営、民営化、他の用途での活用等)<br><input type="checkbox"/> 4 施設の在り方も含めて再考すべき                   |
|                             | (理由)  |
| ② 指定管理者の更新(再指定)について         | <input type="checkbox"/> 1 特に問題がなく、現在の指定管理者による運営を継続すべき<br><input type="checkbox"/> 2 改善が必要な事項はあるが、現在の指定管理者による運営を継続するのが適当<br><input type="checkbox"/> 3 別の指定管理者への変更を検討する余地がある<br><input type="checkbox"/> 4 別の指定管理者へ変更すべき(任意指定ではなく公募すべき) |
|                             | (理由)  |

**【評価委員会の意見・提言・評価結果】**

・集客事業は水物だが、昨年度よりも今年度の方が利用者が増加しているということに驚いた。通常は 2 年目に減少するところだが、逆に増加しているということは、間違いなくピーターが多いのだと思う。この状況が維持されていけば、初期投資分も回収されるため経営としては改善される。いかにして集客を維持するかにかかってくる。

・本当に素晴らしい。今のトレンドやニーズにあった施設、デザイン、サービス、情報等を提供しており、若者グループやヤングファミリーが喜びそうな素材がそろっている。個人的には今後も上手くいくと思う。

・バーベキューやカフェでの食事が目的ではなくて、ここに来てゆっくりして、パソコンを持ち込んで仕事をして帰るというような人が利用できるスペースとして、小ホールを活用しても良いのではないかな。小ホールも公園もリラックスできる空間として提供することを考えるべき。緑が残っていて、川があるという空間は非常に良い。特定の目的はなくても、ただのんびり過ごして帰るという場に中之島公園はなり得ると思う。あとは、そのような場にするためにベンチなどがあったほうが良い。ただし、プラスチックの安っぽいものではなくて、雰囲気にあったものが必要。

・現在実施しているアンケートは非常に参考になると思う。次に何が欲しいかということアンケートで聞いているが、その解答にはヒントがたくさんある。今のアンケート形式では不十分だが、年代と性別が分かるようにしておくことが分析ができ、メインターゲットのニーズが把握できる。マーケット戦略と合わせた投資計画を考えることが重要。

・よくデジタルマーケティングといわれる web とか SNS を使った告知方法やファンづくり、情報の拡散などの手法は、リバーポートパークの客層に最もフィットする。この手法を強化することで認知度を高め、リピート率を高めるとことは十分にあり得ると思う。リバーポートパークのインスタグラムもフェイスブックも確認したが、非常に頻繁に更新しており、内容も SNS 講座で見本として紹介したいぐらいの良い内容だった。行政はどうしても紙媒体を使いたがる傾向にあるが、今はデジタルに投資したほうが絶対に良い。インスタグラムやフェイスブックの広告は簡単にらせる上に、反響がダイレクトに返ってくる。リバーポートパークの施設の特性を考えると、デジタルとマッチするので、こちらに投資すべき。現代は完全に口コミの世界であり、SNS などを使った情報発信をもう工夫することで、リバーポートパークは十分に伸びる可能性があると思う。

・リバーポートパークにはシャワー施設があるからランニングに行こうと思ってもらえる拠点づくりをしていけば、シャワー施設の稼働率は上がる。シャワーがあるから利用していただくではなく、シャワーを利用してもらう仕掛けをする必要がある。午後 5 時で閉まってしまうのであれば、なかなか利用はしてもらえない。

・行政と指定管理者がうまくかみ合っていないケースがよくあるが、リバーポートパークにおいては非常に上手いと感じた。

・期末モニタリングの総合評価が「B」となっているが、あれだけ頑張っているのにこの評価は気の毒だと思う。評価軸が、指定管理の事業や経理などに関する項目しかないため、どうしてもこのような評価になってしまうのかもしれないが、この 1 年間でリバーポートパークが果たした功績というのは、美濃加茂市のイメージアップに貢献したことと、美濃加茂市民の誇りを作り始めているところにあると思う。今市民にアンケートをとって、美濃加茂市で来てほしい場所はどこかを尋ねたら、おそらくリバーポートパークは上位に来る。これは、市民の誇りにつながっている証拠であり、美濃加茂市を PR するシティープロモーションにもなっている。美濃加茂市にはこんなに面白い

場所があるのかというのを、3000 人のファンがいるインスタグラムなどで発信していることで、美濃加茂市に非常に大きな貢献をしている。今の指定管理者が入ったことで、美濃加茂市のイメージアップにつながっているが、残念ながらそのような評価軸が今の評価にはない。特に集客施設は、そのような評価の物差しを作ってあげると、指定管理をあの企業に頼んで良かったというところが見えてくるので、今後も指定管理制度を継続していくのであれば、そのような評価項目を作るべきだと思う。市の広報で美濃加茂市をアピールしているのと、指定管理者が名古屋マーケートに対してアピールしているのとどちらが価値があるかを考えると、リバーポートパークの方が価値があるのかもしれない。数百万円や数千万円では足りない価値があるかもしれない。インスタグラムやフェイスブックで毎日美濃加茂市のことをアピールしてくれている。これは非常に重要なこと。その点は、指定管理者に対して何らかの評価をしてあげるべきだと思う。

・集客を実現しており、そのための努力もしている。具体的な取組や情報発信も積極的にしているという意味では、「A」評価になると思う。ただし、指定管理者としての経営の実態を聞いてしまうと、経営部分でもう少し改善は必要だとは感じた。

・改善の余地がない「A」はあり得ない。努力しているところほど自己評価は厳しくなるものだが、中之島公園利活用共同体を「A」評価としなかったら、他の施設の指定管理者は「C」となってしまうのではないか。他の指定管理者への評価との公平性を考慮しつつ、二次評価の判定基準に基づくと、「A」評価が妥当である。

#### 要改善・勧告事項

##### 【指定管理者に対する要改善・勧告事項】

・パンフレットが春夏秋バージョンと冬バージョンの 2 種類あるが、表紙を見ても見分けがつかないため、冬バージョンの表紙に「winter」と表示する、写真を変えるなど、表紙のデザインを変更したほうが良い。

・リバーポートパークは本当に良い施設だと心から思っている。ただし、木曽川部門は郡上で実績のある企業なので何も心配はしていないが、カフェ部門はてこ入れが必要だと感じた。飲食業の経験がないという話であったが、スタッフはニーズに合わせて新しいことにチャレンジしながら、接客も内容もサービスを向上させなければいけないと思う。また、カフェとして周知していくこともしなければならない。現状は、カフェを案内する看板がほとんどないため、カフェ利用を促す看板も必要だと感じた。イベントの出店で補いたいという話があったが、たいした利益は上げられない。カフェ自体を何とかしないと、長く続けることはできない。

##### 【市に対する要改善事項】

・実際に場所についての問い合わせが来ている以上、看板の設置はやるべき。ここにあるということが一目でわかる看板が必要。

・森の活用次第で、ターゲットを広くすることもできる。公園はバーベキュー、アクティビティー、カフェの 3 本柱で問題はないが、森をどのような位置付けにするかでターゲットは変わってくる。現状では、森の魅力があまりない。ウォーカブルシティを目指すのであれば、あの森をウォーカブルシティのシンボリックな拠点にするとか、健康都市を目指すのであれば、健康をキーワードにして体験できるものを整備することも考えられる。公園側を一つの核として、森のゾーンを 2 つ目の核として、合わせて総合的に中之島公園を整備・活用する戦略を考えていくことが市としては必要ではないか。当然、今の指定管理者と連携しながら考えていく方が良いと思う。

・3 施設(リバーポートパーク、健康の森、ぎふ清流里山公園)の交流を促すのは市の役目。指定管理者が自分たちの運営を中心に考えるのは当然なので、交流を促す仕掛けやきっかけやイベントは、市の方で考えて取り組むべき。その中で指定管理者に協力をしてもらいながら、結果としてリバーポートパークのためになるという形が理想。

・指定管理者の収益は天候にかなり大きく左右される。最終的には事業者が撤退されてしまつては、公園管理として問題があるため、美濃加茂市と事業者のギブアンドテイクという部分があるのではないかと。指定管理料を決定する上で、人を集めれば集めるほどペナルティーになるような形だけは、必ず避けなければならない。

#### ●二次評価の判定基準

A(優良)= 施設の維持管理・運営を適正かつ効率的に行い、サービス向上及び利用者数の増加を図る具体的な取り組みを積極的に実施している。

B(良好)= 施設の維持管理・運営を適正に行い、サービス向上及び利用者数の増加を図る具体的な取り組みを一部実施している。

C(課題有)= 施設の維持管理・運営を適正に行っているものの、一部課題があり、サービス向上及び利用者数の増加を図る取り組みもあまり見られない

D(要改善)= 施設の維持管理・運営に問題があり、早急な改善・勧告が必要である